



江戸口御門



足軽番所



大番所



京口御門と京口千人溜り



復元された
箱根関所
全面公開



大番所雪隠



ふみがえった箱根関所

— 全面公開! —

平成10年度から整備を進めてきました「箱根関所」を4月から全面公開しています。

整備にあたっては、静岡県韮山町（現在の伊豆の国市）の江川文庫から発見された「相州箱根御関所御修復出来形帳」に基づき、文化庁、国土交通省、神奈川県との支援を受けて復元を行ってまいりました。

建物については、大番所・上番休息所をはじめ、足軽番所・遠見番所などはすでに完成し、一部公開していますが、平成18年度において江戸口・京口両千人溜りが完成したことにより、全面公開となりました。

江戸口・京口両御門から一歩踏み込んだ瞬間、そこは江戸時代という異次元空間です。

ぜひ、ご家族・お友達をお誘いのうえ、遊びに来てください。

※開館時間は、9時から17時まで（売札16時30分）です。

照会先 箱根関所

☎ 83-6635



箱根関所御高札除幕式の様子

1 大番所・上番休息所 (おおばんしょ・かみばんきゆうそくじょ)

大番所には、面番所と呼ばれる部屋があり、小田原藩から出向した関所役人がこの部屋につめ、ここを通る旅人の関所改めを行った関所の中心となる建物です。上番休息所は、大番所の南側に位置し、棟続きの建物です。1か月交代で勤務する関所役人の日常生活の場として使われました。

2 厩 (うまや)

5頭の馬をつなぐようになっていましたが、実際には2頭しかおらず、空いた場所に掃除道具や火を消す道具などが納められ、納屋と兼用でした。

4 京口御門 (きょうぐちごもん)

江戸口御門の対面側にあります。形や大きさなどは、江戸口御門と同じです。

5 京口千人溜 (きょうぐちせんになだまり)

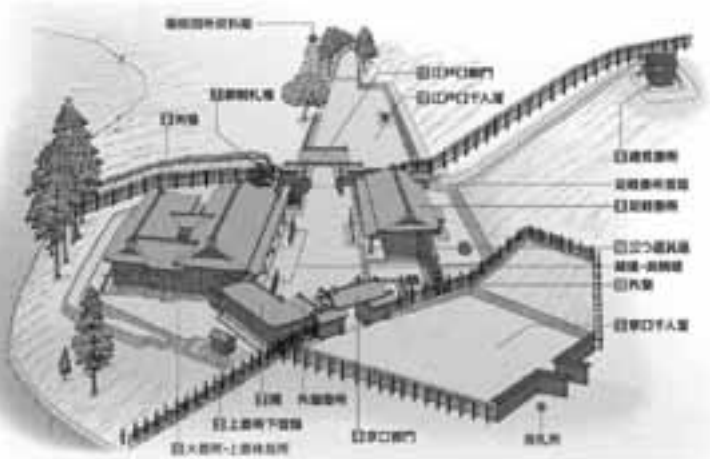
旅人たちが関所改めを待つ待機場場として利用された広場でした。

8 遠見番所 (とみばんしょ)

江戸時代、旅人が芦ノ湖を船で通行することは禁止されていたので、この遠見番所から足軽が昼夜を問わず交代で、四方の大きな窓から芦ノ湖や街道沿いを見張っていました。隣接する広場は、芦ノ湖を一望できる絶景ポイントです。

9 足軽番所 (あしがるばんしょ)

大番所・上番休息所の次に大きな建物で、大番所・上番休息所の向かい側、江戸口御門の脇にありました。昼間は足軽が控えていたり、夜は足軽が寝ていた場所です。建物内には足軽のための部屋や休息所、関所破りをした罪人などを一時的に拘置する獄屋(牢屋)などがありました。



観覧料金	区	分	料金(税込み)
箱根関所資料館共通券	一般	大人	500円
		小人(小学生)	250円
	団体(20名以上)	大人	350円
		高校生	150円
		中学生	120円
	フリーパス町立施設割引券	大人	400円
		小人	150円

※町民の方は無料です

関所には伴頭（関所の責任者）1名、横目付（伴頭の補佐をする人）1名、定番人3名、足軽15名などがいました。また、女性の通行を厳しく取り締まったため「人見女」という女の役人がいました。

人見女